

JAえんゆう広報誌

ひざし

2015 1
.....
No. 191

謹賀新年

今月の主な記事

新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合	
代表理事組合長 中川 菊夫	2
網走農業改良普及センター 遠軽支所	
支所長 五十嵐 強志	4
北海道農業協同組合中央会	
会長 飛田 稔章	5
JAえんゆう青年部 部長 片岡康太郎	
JAえんゆう女性部 部長 新国 妙子	6

特集～「TPP交渉問題を考える」～
「日本の森林・林業とTPP交渉の課題」(後編) 7

平成26年度 えんゆう農協役員研修
イタリア・フランス役員研修を終えて(後編) 8～9

秋季農事部懇談会
秋季農事部懇談会の主な意見・要望 10～11

女性部一日研修
お詫びと訂正 12

一日皆貯金当選者発表 13

全道JA青年部大会に参加 14

上湧別玉葱振興会青年部がPR研修を実施 15

営農計画書作成協議日程 16



今月号の「いもたま作造くん」は
お休みさせて戴きます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」「読者の声」は休載させていただきます。

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長

中川

菊夫



組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。平成27年の輝かしい新年を、ご家族の皆様とともに壮健にて迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、政府与党による農協系統組織に自己改革を求める「規制改革実施計画」が提起され、これに対してJAグループ北海道は11月に「改革プラン実行計画指針」を策定し自己改革の意思を打ち出しました。しかし、今後どう進むのか、我々農協系統組織にとってはTPP交渉の行

方とともに不透明な年の瀬を迎えることとなりました。今まで通り農協は、組合員目線に立ち内外に協同組合精神の理解を求め、組合員のための改革となるよう努めてまいります。一方日本経済は、4月の消費税増税以降、景気の回復は極めて鈍く、国内経済成長率は、前年対比で▲0・5%を示しています。今後の輸出・観光産業などの一部の企業がけん引役となり緩やかな回復軌道を示し、実体経済として賃金所得が上昇するなど、内外需の需要を喚起し、デフ

レを完全に克服し、景況感の高揚を増す一年となることを期待します。さて、昨年は雪解けも早く春先から比較的良好的な天候が続き、玉ねぎをはじめビート、馬鈴薯、デントコーンなどの移植播種作業も順調に進みました。5月、6月と異常気象を思わせる低温、大風、6月3日には季節外れの猛暑日となり、過去の最高気温を更新するなど今年の気候が心配されましたが、いずれも長続きすることはなく、多少干ばつ気味ではありますが順調に収穫期を迎え

謹賀新年

平成二十七年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長
代表理事専務
理事

" " " " " " " " " "

中川 菊夫	山口 哲朗	菅井 誠	鈴木 光俊	関口 哲治	阿部 和彦	井上 政徳	八巻 武則	長谷川 秀利	牧野 正俊	箭内 秀幸	菅井 正志	菊地 敏明
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------

ることができました。収穫期始めは、台風の影響を受け、不安定な日もありましたが、しだいに天候は安定し寒暖差のある良好な収穫期となりました。

玉葱については、干ばつ傾向の中、灌水機散布により平年並みの収量を確保し、市況についても安定した価格が続いています。ビートについては、平均反収約5t、糖分量は18・1%と糖分取引になつて過去最高の値となりました。南瓜についても、エビス・栗ともに平均で2t近い収量となり、品質についても近年にない出来となりました。小麦・馬鈴薯・シソについても概ね平年作となり、畑作青果全般、平年作を上回る上場の出来秋となりました。

一方酪農においては、加工原料乳価バター・脱脂粉乳など1kg当たり平均5円47銭の取引価格の引き上げ、飲用乳価についても昨年12月1kg当たり3円の引き上げで妥結しました。当組合においても11月末で前年の乳価と比較すると、4円12銭に上昇しており、5000tの乳量で手取りが約200万円増加することになりました。

す。しかし、生乳生産の状況は、全道・オホーツク地域においても前年割れが続いており、当組合においても、一戸当たりの乳量は、頭数ともに増えているものの、離農者による酪農家戸数の減少など、生産乳量は（10月末実績）前年を1・3%下回っております。また、育成・初任牛の

個体価格については、酪農経営の大規模化傾向と個々の搾乳意欲に支えられ、前年からみると概ね取引価格は上昇傾向で推移しています。

現在の酪農環境は、円安などの影響により配合飼料、生産資材価格の高止まり、生乳需給の逼迫、値上がり傾向を続ける電気料金など、いまこそ生産基盤の維持、整備強化を図り将来にわたり持続可能な酪農を再構築すべき時に来ています。そのために農協としても、初妊牛購入に際し1頭5万円以内の助成、また配合飼料t当たり1000円の助成金制度を急遽導入いたしました。今年も酪農生産基盤の拡充・強化に、コントラクターの充実と効率化、外国人労働者による労働補完、育成セクターの事業充実、生乳増産体制などの多面的支援をより一層進めてまいります。また、系統組織にあつても総力を結集し、新年度の乳価交渉と生産資材価格の低廉化への努力に期待するところです。

さて、大義なき解散といわれた昨年の総選挙、終わってみれば与党の圧勝で幕を閉じましたが、安倍政権は「アベノミクス」に信任を得たとばかりに前のめりに規定路線を突っ走る可能性が懸念されます。自由化と規制緩和とは聞こえはいいですが、多国籍企業を中心とする力の強いものがより自由に活動できる社会を創ろうとする事に他なりません。政権与党により、積極的に交渉が進めら

れているTPP交渉ですが、与党公約に「重要5品目堅持」「国会決議などを踏まえ」とし、「国益にかなう最善の道を追求する。」としています。国益とは、誰の利益なのか、少なくとも農業を焦点に論議を進める以上、それは農業者の利益であるべきです。農協改革では「JA中央会は『廃止』にせよ」「農協のインフラにより地域に貢献せよ」と言ったり、准組合員には「利用制限をせよ」と言ってみたりと倫理観の欠けた恣意的論議であり、農業者の不安は到底払拭できません。農協は自主・自立の組織として、組合員自らがその経営を点検・精査し改革するものです。当組合もその原点に立ち、真摯に組合員の思いに耳を傾けてまいります。

農業の発展は、地域の発展につながり、安心・安全な食糧を安定的・継続的に国民に供給することは、我々農業者にとつて「使命」と「誇り」です。そして、食料産業の原点にある農民が尊ばれ、安心して営農に従事できるよう引き続き支援をしてまいります。

年の初めに当たり、組合員・ご家族の皆様のご健勝とご多幸、本年の五穀豊穡を願い社会平穏なる一年であります事を、心よりご祈念申し上げます。御理解と御協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

酪農専門部会

理事	佐藤 克哉
常務監事	久須田 栄治
代表監事	佐藤 直行
監事	石丸 政雄
常務監事	小倉 武
監事	高橋 淳
参事	井上伸一郎
参事	馬場 秀人
職員	一同

ビート専門部会

部長	前島 英樹
副部長	平野 隆樹
副部長	松浦 敬貴

ブロッコリー専門部会

部長	平野 寿雄
副部長	野田 秀利
副部長	大河原 正一

玉葱専門部会

部長	花木 慶喜
副部長	井上 靖
副部長	山田 忍

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 五十嵐 強 志



新年あけましておめでとうござい
ます。

輝かしい新年をご家族お揃いでお
迎えのことと心からお慶び申し上げ
ます。

平素より普及事業に対しまして、
農業者・関係機関の皆様からご支援
とご協力を賜り、心よりお礼申し上
げます。

農業をめぐる情勢では、円安が一
段と進んで購入飼料や生産資材が高
騰し、経営への影響が拡大していま
す。農政ではTTP交渉の行方が不
透明で、農業はもとより地域経済へ
の影響が懸念されています。酪農を
めぐる情勢では、全道的に生乳生産
が伸び悩んでおり、増産に向けた対
応が急がれるところです。

昨年の遠軽町の気象及び作況を振
り返りますと、融雪期は平年より9
日遅れとなりましたが、4月中旬以
降の好天では種・植え付けはほぼ順
調に進みました。5月から9月まで
の平年対比では、積算平均気温10
4%、降水量122%、日照時間1
04%と降水量は多めで、7月下旬

8月に集中しました。年間通じて、
大きな災害の無い年でありました。

秋まき小麦では融雪遅れで幼穂形
成期は遅れ、5月下旬以降の高温で
出穂・成熟は早まり、穂数は少なく
収量は平年をやや下回りました。27
年産に向けては融雪促進と起生期以
降の生育に応じた栽培管理が重要と
なります。

てん菜のは種(直播)・移植作業は
順調に終了し、病害虫の被害も少な
く、収量・糖分ともに平年より高め
となりました。

たまねぎは移植作業と移植後の生
育は概ね順調に進み、5月下旬7
月中旬の少雨に見舞われたものの、
かん水等の適切な栽培管理によって、
平年作をやや上回る収量となりまし
た。

飼料用とうもろこしの登熟は黄熟
期に達して収量、品質ともに平年並
となりました。すす紋病、根腐病は
少発生となりましたが、出穂期以降
のほ場観察が肝心です。出穂期以降
肥料切れとなつていいるほ場が見受け
られ、基肥の量、追肥の検討が必要

であります。

牧草は融雪の遅れ、67月の少
雨で生育が心配されましたが、1番
草、2番草ともにまずまずの収量・
品質となりました。きめ細かな飼料
給与管理を行い、生乳生産につなげ
られるようお願いいたします。

昨年の秋は長雨も少なく、秋の耕
起作業は取り組みやすい状況であり
ましたが、近年は大雨によるほ場滞
水で作業の遅れや作物の生育停滞を
招いている事例がみられます。堆
肥・緑肥等の有機物を輪作と併せて
適正量を施用して、作物生産のベ
スとなる土づくりの計画的な取り組
みをお願いいたします。

普及センターでは、安定した農業
経営に向けた生産技術支援や活力あ
る地域農業づくりのために職員一同
で取り組んでまいりますので、皆様
のご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝と豊穰の秋を共に迎
えられることを心からお祈りし、新
年のご挨拶いたします。

麦作専門部会

部会長 中川 雅元
副部長 山口 秀雄
" 北村 満

特作専門部会

部会長 岡村 英巳
副部長 中川 悠一
" 岡村 貴幸

畜産部会

部会長 高谷 慎二
副部長 林 秀幸

農機推進委員会

部会長 井上 実
副部長 西塚 仁志
" 柳田 拓馬

えんゆう農協青年部

部会長 片岡康太郎
副部長 穴戸 宏光
" 岡田 拓也

えんゆう農協女性部

部会長 新国 妙子
副部長 松浦三代紀
" 斉藤三千代

平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔 章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成26年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合

意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取り組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取り組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもと

に、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的

発展をはかっていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追究し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年（ひつじどし）です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

JAえんゆう青年部

部長 片岡

康太郎



新年あけましておめでとうござい
ます。平成27年の新春を迎え、青年部員
ならびに農業関係者の皆様には心よ
りお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の低
温や全般的に雨量も少なく農作物、
飼料作物の品質、収量に影響を及ぼ
すのではないかと不安な時期もあり
ましたが、共に例年並みの出来で
あったと聞いております。

T P P、農協改革、消費税の増税
等に伴い、農業を取り巻く環境は
年々厳しさを増しています。そのよ
うな状況の中、我々青年部は一致団
結し日本の農業を守り、よりよい農
業の発展のため活動してきました。

例年実施しています町主催事業へ
の協力、オホーツク農協青年部協議
会、北海道農協青年部協議会など上
部団体への参加、P R活動、上湧別
小学校4年生を対象とした農業体験
学習をおこなってまいりました。こ
の農業体験学習では作物の栽培、収
穫、調理をとおして子どもたちに食
育をおこなっていました。今回は
これに牧場見学を加え子どもたちに
いのちの食べ方、大切さを教えてき
ました。

また、オホーツク農協青年部協議

会のもちまわり事業として、農
水省職員を招いての農村ファームス
テイ、活動実績発表をおこなってま
いりました。

ファームステイ事業では、JAゆ
うべつ青年部さんと合同で開催し、
湧別町内のT M Rセンターや農場見
学、農家宅での実習をおこない、普
段、なかなか交流することのない農
水省職員、JAゆうべつ青年部さん
との親睦を深めることが出来ました。

活動実績発表では、上湧別小学校
にて実施している子供農業体験をメ
インに青年部活動の発表をおこない
ました。結果は残念ながら優秀賞と
なり、惜しくも最優秀賞には届きま
せんでしたが、自分たち青年部が日
頃おこなっている活動を見直すきつ
かけとなり、他地区の青年部にもひ
けをとらない活動内容であることも
知り、自信を持つことが出来ました。

今後も青年部活動を通じて、部員
相互の団結を深めて、積極的な事業
展開に取り組み、個々の営農意欲の
向上、活気ある青年部づくりにも励
んでいきたいと考えております。

本年も各関係機関および各部員の
皆様の一層のご支援とご協力をお願
い申し上げます。新年の挨拶とさせてい
ただきます。

新年にあたり

JAえんゆう女性部

部長 新国 妙子



新年 あけましておめでとうござ
います。平成27年の新春を迎え、女性部員
ならびにそのご家族、また、農業関
係者の皆様には平素より女性部活動
に際しまして、深いご理解と温かい
ご支援を賜ること心から感謝申し上
げます。

さて、私たちの農業の現場では、
毎年のように繰り返される異常気象
や安定しない政治・経済、そしてT
P P交渉や農協改革など気の抜けな
い情勢が続いております。目まぐる
しい変化の中、私たちはどう行動す
れば良いのか戸惑うばかりです。こ
のように混沌とした時代だからこそ
お互いの幸せを願い、人と人が助け
合い、力を合わせ実現する協同組合
の理念・価値について学ぶことの必
要性を感じます。

女性部活動では、各部会の学習会
や視察研修会で情報交換し、合同研
修では健康を考えたストレッチ体操
を学び、女性部員指導での「ねこの
洗濯バサミ作り」をおこないました。
女性部には、その技術や知識を

持った人がたくさんいますし、皆さ
ん社交的で女性ならではの感性が
いっぱいあることに感心させられま
す。

また、10月には札幌さとらんどで、
農家・消費者交流会のイベントに参
加し、全道各地の生産者や直接消費
者とふれ合い、自分たちの作った農
産物を料理・紹介し、「食と農」につ
いてのアピールする活動をおこない
ました。他に今回初めて、JA役職
員と女性部との意見交換会を実施し、
日頃女性部員が感じているJA運営
について話し合いを持ちました。私
たちも経営のパートナーとして、生
産・生活を担う者として今後も組織
との対話を持ち、女性の視点から声
を伝えていきたいと思ひます。

今後も活動を通して共に学び、共
に考え実践することを目標に取り組
んでまいりますので、一層のご支
援・ご協力をお願いいたします。

平成27年が良き年になりますよう
祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

特集～「TPP交渉問題を考える」～



「日本の森林・林業と TPP交渉の課題」《後編》

黒 瀧 秀 久

(東京農業大学生物産業学部長)

前回は、1951年の丸太の関税撤廃や1964年の木材輸入の完全自由化をはじめとした輸入加速政策により、産業としての林業が衰退の一途をたどることとなったことについて言及した。

こうした状況下でのTPP交渉への参加は、主要国・地域との経済連携の重要性は十分に認識すべきであるものの、既に関税引き下げや貿易自由化などで大打撃を受け疲弊している日本林業を衰退させ、林業・木材産業全体の存続の危機となることが懸念される大問題である。仮にTPPにより合板や集成材等の関税がゼロになった場合、林産物の生産量減少率は5.7%、生産量減少額は全国で490億円(農林水産省試算)と推計されている。そのうち北海道の減少額は33億円(北海道推計)であり、これは木材製品出荷額の1割程度に相当する大きな金額である。

こうした事態となれば、価格の安い輸入材の増加によって、我が国の

森林所有者や木材業界の経営意欲を減退させると同時に、さらなる経営環境の悪化が危惧される。また、それに伴う森林資源の循環利用(伐採↓利用↓植林↓保育)の形態が損なわれ、地球温暖化対策や多面的機能の発揮、木材自給率向上のための森林整備や産業振興への影響が懸念される。とりわけ環境面での悪影響は、TPPによる経済的損失以上に危惧されなければならない問題であるといえよう。

他方、近年の我が国における林業政策においては、2009年に「林業再生プラン」を制定して10年後の木材自給率50%を目指し、2010年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」や「地域材利用促進政策」等により国産材利用の拡大を図っており、2011年の木材自給率は26%まで回復し成果を上げている。TPPへの参加はこうした政策にも水を差す恐れも懸念されよう。

以上のように、多くの問題・課題を抱えながら進展しているTPP交渉であるが、「国益」の中身を見据えて、単純な自由貿易化の観点のみで議論するのではなく、誰のための「国益」なのかを原点に帰って点検し、我が国の森林・林業の安定と持続を前提とした「持続可能な森林経営」の推進に資する貿易のあり方についても議論されるべきである。そのためには、撤退を含む明確な方針の下で現行関税水準堅持(状況によってはそれ以前に戻すことも検討)を前提とした交渉に挑むことが重要であろう。



平成26年度 えんゆう農協役員研修 イタリア・フランス役員研修を終えて(後編)

理事 佐藤 克哉

11月12日(水)

この日は移動日。ホテルからバスでナポリの駅へ移動するが、信号がなく、車の路上駐車や渋滞がすごくて30分位かかりました。ホテルから駅まで歩けば5分程度の距離ですが、スリが多くて非常に治安が悪いことから、バスの移動ということだそうです。

ナポリからローマまではユーロスター(EU版新幹線)で移動し、ロー

マからは、飛行機で再びフランスパリへ移動して、ホテルには17時半ごろに到着しました。

11月13日(木)

この日は、朝早く暗い中を出発し、パリの西、約300km先にあるモン・サン・ミッシェルに向かいました。半日かけて13時半に到着。

11世紀、海の中の島に修道院が建てられ、下には集落があり、今でも25名ほどが暮らしていて誰でも住むことが出来るそうです。

中段より上部は修道院になっていて、相当な高さがあり、連日の視察で歩き続けて疲労が溜まっている身体には、階段を登るのもつらかったですが、いろいろな遺産を見ながら何とか登り切り、下に広がる素晴らしい風景が見られたことは良い思い出になりました。

11月14日(金)

この日は、パリ郊外を西に45km、家族経営の牧場を視察しました。視察先に向かうバスの中で通訳案内人のラスコールさんから、フランス農業の概要説明を受けました。フランスでは、農業は中規模経営が主で農業者人口は77万人。そのうち8割が個人経営で農業者人口は、

2000年までに9万人減少し、2006年以降は毎年5000人減少しているため、一戸当たりの経営面積は、2000年に40haだったが、現在は80haと拡大しています。また、農家の所得は高くなり、日本の農家が抱えている問題でもある高齢化や後継者不足、負債問題、お嫁さん不足などが悩み。

フランスの作物別所得は、野菜37,300ユーロ(約520万円)、花卉32,000ユーロ(約450万円)、牛乳27,800ユーロ(約390万円)、鶏27,100ユーロ(約380万円)、穀物26,200ユーロ(約370万円)、肉牛21,100ユーロ(約300万円)と年々所得が減少しており、特に牛乳・鶏・肉など酪農畜産の所得が低く、前年度から取引価格が全体作目で15%、50%低くなっているようで、儲けているのは商社だけで酪農の生産者で自殺者も出る状況であると説明を受け、視察先の牧場に到着しました。概要等は次の通り。

農場名	場所
ファーム ドウドウ	パリから西に45km。シュツ
プタンビル地区	ジェールさん
57歳	



ファーム・ドウドウで話をうかがう役員の皆さん(上)、俳優として稼ぐ(?)山羊(下)



モン・サン・ミッシェルの全景



昔の農機具がきれいに展示してありました

30歳を超えて3,000m²の土地から農業を始める。牧場主は元々酪農技術指導者として仕事をしていた。現在37歳の娘(独身)が農場を会社にして跡を継いでいる。奥さんは主にチーズ作り。

経営面積は50haで小麦20ha、他牧草地、デントコーン。牛は20頭で年間59t搾乳しており、チーズやバター、ヨーグルト、ミルクジャムなどを加工製造して、自宅内にある直売所で販売し、数々の賞も受賞しています。

他に山羊70頭、乗馬用の馬の生産、豚、ホロホロ鳥、ウサギ、アヒルを飼育していて、家族以外に若い女性1名を従業員として雇用しているが、基本は家族労働での経営。

ジェルさんに話をうかがうと、牛乳の価格は、リッター約35円(安過ぎ!)とのことで卸販売はおこなわず、自家加工して直販しているとの

こと。また、牛の餌は配合飼料を使わず、牧草とデントコーンの子実のみ。畜舎内に立派な角の山羊がいましたが、この山羊を映画撮影に貸し出す事があるそうで、貸出料は1日5万円とのこと。これは山羊の加工販売より収入が良いと話していました。

農作業機の中に、日本でも現在販売している新しいクボタ製90馬力、ローダー、キャビン付のトラクターがあり、価格は600万円とのこと。日本よりも安い感じでした。

あと、販売所に隣接している住宅はけっこう新しく、家の裏には経営主の趣味で年代物の自動車も動ける状態で4、5台、ハウスの中で所有していて、その他、離農した農家が長年使用していた古い農具類を多数買い取り保管して展示していました(けっこうお金持ちかな?)

他の農業事情を聴いたところ、農

地価格がha当り6,000ユーロ(84万円)。フランスも農地の法律が厳しく簡単には農地に建物を建てられないとのことでした。

今回の視察先は、乳製品の加工販売、観光、展示、動物の飼育とまさしく家族経営を中心とした6次産業化という農場でした。

個人経営では日本のように牛乳を生産して業者に出荷販売する方法ではないため、経費を掛けずに1頭当たり乳量も低いが、自家加工と直販で生計を立てているようです。

今回、イタリアとフランスの組織・農家を視察しての感想としては、大規模経営もあるとは思いますが、特にフランスでは食料自給率200%ということなので農作物を輸出しなければならなく、国際競争の中、価格低下を招いている模様で、農業環境の厳しさを感しました。

視察を終えた後、ホテルに戻り、その後、視察研修最後の夕食をパリ市内のレストランで今回の研修の慰労と無事に帰還しましょうとの石丸常勤監事のあいさつ、佐藤代表監事の乾杯が始まり、名物のエスカルゴとワインを飲食し、最後に菅井総務委員長の研修旅行の成功を祈って、一本締めでヨーロッパ最後の食事を終了しました。

11月15日(土)
朝9時にホテルを出発し、午前中に帰りを待つ家族にお土産を買ってから、夕刻パリを出発し、帰路につく。



ファーム・ドゥドゥの皆さんと記念撮影

11月16日(日)
12時15分に羽田空港に到着。帰りの飛行時間は12時間と往路と比べて30分ほど短かった。

あとは、女満別空港に戻るだけと思いきや、ここでもう一波乱!!

今度は、菊地理事のスーツケースがパリに置き去りとなり、日本に着していません。航空会社に問い合わせたところ、後日自宅へ届けるとのことでした。

夕刻、羽田空港を飛び立ち、18時に怪我も病気もなく、全員無事に女満別空港に到着し、役員研修を終えることが出来ました。

最後になりましたが、今回、このような機会を与えていただいたことに感謝するとともに、報告に代えさせていただきます。

秋季農事部懇談会が開催されました

12月1日～6日にかけて、23地区9会場で秋季農事部懇談会が実施され、多くの組合員が出席しました。

懇談会では、今年度の作況、農協がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員からの意見・要望が寄せられました。

主な事項についてお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があったときはご容赦願います。



秋季農事部懇談会の様子

秋季農事部懇談会の主な意見・要望

【営農関係】

一、国営排水事業について、事業により地下水が不足する事はないか。

↓事業施工前の検査において、地下水が不足しない施工内容となっている。

二、除礫事業について当初計画になくても実行出来るようにしてほしい。

↓制度の問題なので、現況において対応はできないが、柔軟に対応いただけるよう要望する。

三、除礫作業後の畑の状態が悪い。きちんと施工するよう要望して欲しい。

↓施工した業者に要望します。GPSを利用した農業についての支援および考え方は。

四、今後現況の実態、管内他地区での取り組み内容を把握し、前向きに取り組んでまいりたい。

五、畜産のリース事業を畑作でも活用できないのか。

↓耕畜連携において活用は可能。ただし、酪農畜産の事業なので、畑作個人での対応は不可となる。

六、新規就農への取り組みを農協独自でもおこなってほしい。

↓単独での対応は困難。行政機関などと連携して取り進めてまいりたい。

七、自走モアコンの運転は経験のある担当にお願いしたい。

↓新しい導入機械においては、経験者になるべく優先的に当たりたいと考えているが、オペレーター育成もおこなわなければならないので、すべての時間は対応できない。

八、土壌診断が他の分析機関と数値が違う場合があるが問題はないのか。

↓現況において検体の相違による数値の違いと認識しており、

問題ないものと考えているが、機械保守を定期的におこない、不安を与えないようにしたい。

九、畑作のコントラクター事業について取り組む予定はあるか。

↓現在のところ予定はない。

【農産関係】

一、小麦施設の建設実施予定はいつ頃になる見込みか。

↓27年度補正事業にて28年度事業にて着手できるよう取り進めている。

二、小麦施設の用地は確保できる見込みなのか。

↓遠軽地区麦乾施設隣接地をすでに確保済。

三、小麦施設について、白滝地区は今後も単独でやっていけるのか。

↓将来の不測の事態にも対応できるよう、増設可能な設計とする。

四、農協所有の火山灰はまだ取り扱っているのか。

↓農協所有は在庫がなくなり終了。要望があれば業者取扱いをあつせんする。

五、ストーンピッカーの導入は考えていないのか。

↓農協所有としての導入は考え

ていない。地区、集団にて管理運営の希望があればリース事業等対応する。

- 六、農産課の人員を増やしてほしい。
▽定期人事にて検討する。

【畜産関係】

- 一、雄武に預託している牛の入牧取りまとめ日程に余裕がないので、日程を固定化または余裕のものと取りまとめしてほしい。

▽市場等の日程調整があるが、出来る限り余裕をもった取りまとめ、期日といたしたい。

ただし、年間を通しては迷惑をかける部分がある。

- 二、乳房炎治療薬ピルスーの利用が早くできるように対応してほしい。

▽抗菌性物質の迅速検査体制と検査キット類を現在発注済。

もうしばらくお待ち願いたい。

- 三、持続的酪農経営支援事業に際し、関係書類としての農地台帳を遠軽支所と同様に最新版をまとめて農業委員会からもらって対応してほしい。

▽個人情報に値する資料であり、難しい取扱いになるが農業委員会へ要請いたします。

【対策室関係】

- 一、L資金の0%貸付の枠の増加と利用が難しくなった農地保有合理化事業10年に代わる事業を要望願いたい。

▽国・道へ要望いたします。

【その他】

- 一、給水栓の撤去・増設について、今後変わらぬ対応が出来るのか。

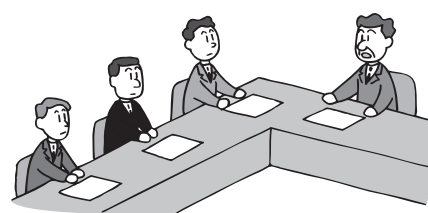
▽町水利組合での対応となるが多面的事業での個人対応はおこなわない。撤去・増設は今までと変わらず対応するが、かかる経費については自己対応となる。

- 二、中湧別セルフスタンドの安売りについて周知願いたい。

▽周知するようジーエーえんゆうへ申し入れます。

- 三、専門部会の部会構成、部会人数について見直すべきではないか
▽本年度より馬鈴薯部会の見直しをおこなったばかりであるが、他の部会においても関係する生産者と協議をして取り進めてまいりたい。

- 四、抗菌性物質検査依頼の際、依頼



- の数より多い結果が送られてきた。検査結果の信頼性にも不安を感じる事となるので、十分注意を払っていただくよう自主運絵宇委員会に申し入れ願いたい。
▽自主運営委員会へ申し入れいたします。
- 五、牛の治療時、カルテに休業期間の記載を徹底してほしい。
▽共済組合へ申し入れいたします。
- 六、農協白滝支所を役場白滝支所内に移転することは出来ないのか。
▽数年前に白滝事務所の老朽化により組合員から要望があったため、遠軽町に申し入れをしたが、その時は場所の確保が出来なかった経緯がある。今後再度申し入れをおこないたい。

【秋季農事部懇談会出席者】

	午 前	午 後
12月1日(月)	屯市・5の2・5の3 23名	4の3 11名
12月2日(火)	開盛・札富美・旭 9名	4の1・4の2 24名
12月3日(水)	富美・上富美 14名	5の1 17名
12月5日(金)	生田原 11名	遠 軽 17名
12月6日(土)	丸瀬布・白滝 11名	合計 137名



テーブルマナー研修の様子

美味しい料理で テーブルマナーを学ぶ 女性部畑作部会一日研修開催

J A 女性部畑作部会では、12月22日に遠軽町丸瀬布上武利にあるホテルマウレ山荘内レストランパシパで一日研修を開催し、26名がテーブルマナーを学びました。昼前にホテルに到着した部員の皆さんがホテル内のレストランで良いマナーと悪いマナーなどを学びながら、料理をいただきます。普段と違い、慣れないナイフとフォークを使って料理を食べるので、どこかぎこちなさが残りますが、美味しい料理と仲間との会話が花が咲き、楽しい一時を過ごしつつ、研修を終えました。

冬の温泉保養 開催決定しました

年金友の会では、定例行事の「冬の温泉保養」を実施します。今年度の日程ならびに場所等は左記の通り決定しました。気の合うお仲間とたくさんのご参加お待ちしております。

日 程 平成27年1月22日～24日
場 所 温根湯温泉「温根湯ホテル」
参加負担金 15,800円
受付期間 12月1日～1月31日
申込方法 本支所の金融課に申込願います。



お詫びと訂正

先月発行いたしました「ひざし」No. 190号の文章中に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに訂正申し上げます。

10 ページ「年金友の会冬の温泉保養」
受付期間

誤 「12月1日～1月31日」
正 「12月1日～1月13日」

14 ページ「読者の声」
2つ目の読者の声

誤 「酪農に」
正 「落葉が」

16 ページ「年末年始の業務日程」
ゆうゆうセルフの業務時間

誤 「7:00～22:00」
正 「7:00～19:00」

読者の声
今年もあと1か月半、この頃年月の早さを感じるなあ、農作業事故のないよう皆様ゆづり頑張りますよ。
(原色)

気がいたらあつという間に師走になってしまいましたね。一寒団圓で年の瀬をお過ごしください。
山々の紅葉もいつの間にか落葉し、冬山の寂しさに変わっています。一年の実りを終わらせて大地は静かな冬の眠りに入っています。小麦の緑だけが目にまぶしく感じられるこの頃です。
(原色)

井上師水のコンサートに行ってきました。パワフルな歌所に腰痛も忘れて楽しめました。同行してくれた娘と留守番の夫に感謝です。
(P.N. 来年は年女(つじ)年)

ストレンヂでは日頃の農作業で疲れた身体をほぐせたいですね。猫の洗濯バサミは皆さん可愛く作っていただいています。
(P.N. ゆうの母)

漬物が美味し季節がやってきましたね。もう12月、大掃除の季節。早いですね。

今日、女性部の合同研修会に参加してきました。午前中、ストレッチ体操で心地良い汗をかきました。午後から猫の洗濯バサミを作りました。小太りの猫が可愛く仕上がりました。しばらくぶりですが、なにかと、楽しい時間を過ごしてきました。準備してくれた役員さん、苦労しました。

いつまでも若々しく色んなことを楽しむのが元気の秘訣ですね。

☆年末年始の業務日程☆

部 門	月 日	12月30日 (木)	12月31日 (金)	1月1日 (土)	1月2日 (日)	1月3日 (月)	1月4日 (火)	1月5日 (水)	1月6日 (木)	1月7日 (金)	備 考
事 務 所	本所・全支所	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	30日午前大掃除
金 融 店 舗	本所・全支所	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
A T M	本所・支所	8:30～17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	(通常日の営業時間) 平日 8:30～18:00 土曜日 9:00～12:00 (無料)
	厚生病院	8:30～17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平日 8:00～22:00 (無料) 8:45～18:00 土・日・祝日 9:00～19:00 (無料) 土・日・祝日 9:00～14:00
	ローソンATM	8:00～22:00	9:00～19:00	休業	休業	休業	9:00～22:00	8:00～22:00	8:00～22:00	8:00～22:00	
	セブン銀行	8:00～22:00	9:00～19:00	休業	休業	休業	9:00～22:00	8:00～22:00	8:00～22:00	8:00～22:00	
ピーランド	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	中 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	下 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
エコーブ	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	中 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	下 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
エコーブ	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	中 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	下 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	上 湧 別	午後休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	



一日皆貯金 当選者発表！

〈特賞〉 一万円（五名）

平野 寿雄・松田美由紀
安藤 英雄・須藤 順一
滝沢 博良

〈金賞〉 五千円（十五名）

上松 拓実・古庄 隆子
吉田 利子・大川 利男
牧野 正俊・吉村 諄郎
林 秀幸・片岡 チヤ
長谷川修子・加賀屋泰樹
佐藤 裕太・石井 秋男
若原 房子・竹内 昭則
松本 章一

〈銀賞〉 三千円（三十五名）

千葉久美子・八巻 晴香
服部 悦子・藤井 紫乃
斎野 勝子・長谷川美香
村田 智子・岡村 英巳
横倉 満枝・和田 昌子
斎野 尚昭・因 光子
佐藤 早苗・増田かつ子
藤崎 静子・加藤富士子
鈴木 雄大・浜野 洋子
小石澤佳奈・村山 求

〈銅賞〉 一千元（百名）

佐久間紀久・柴田 裕子
高橋 和枝・石山 未希
東海林ミイ子・加藤 光隆
岡村 貴幸・原田 真翔
加賀ミツ子・辻本り子
高橋 淳・菊地 典子
関東 静子・安立大三郎
関東 明

安部川晴美・荻原 敏枝
秦野とみえ・三品 茂美
山口由美子・加茂 好江
オリオン(株)・森 美月
安藤 千穂・岡和田リエ子
池田 輝男・平野 俊幸
工藤千恵子・千葉健太郎
三品 結愛・宮嶋江美子
佐藤 和子・清水 まき
上松 聖弥・岡村優美子
涌島みずき・鈴木 一江
山口伸太郎・工藤 秀夫
相羽 侯孝・八巻 成子
船津真由美・小野 寿一
松本 義夫・須藤 正子
吉村トシ子・宮内 正之

大泉 隆夫・鈴木 勝義
岩井 東子・阿部 雄太
高野八重子・仙庭 時雄
鎌田 郭子・栗垣 カヨ
千葉 亜月・鈴木美知子
松田 甚吉・平井 紀美
北村 博子・篠原 清恵
稲垣 政義・佐野 正幸
中川 吉春・楠瀬 アキ
高柳 雅一・中川 心晴
斉藤喜美子・佐藤まさ子
野村 尚行・松浦素美子
藪 峯子・木下 幸洋
梅本 慎也・村田 七海
遠藤 真愛・辻 悠悟
原田八代子・菅井 健斗
狩野 新作・高橋 玉男
橘 竣平・菅井 美香
木元 節子・笹原 一恭
松田 鉄平・菅井 潤
遠藤 隆・伊豆田英子
高橋 明子・佐藤 洋子
斉藤美紀子・渡邊 博之
菅野 秀雄・芳賀 幸子
加賀屋公美・原田 英範
菅井 颯斗・阿部 勝俊

鈴木ヒロ子・原田 皓成
高橋 義久・渡辺 勝則
石倉 栄子・山木 真理
佐藤 明美・矢口 貴子
菅野 恵子・小川 国男
大野 秀子・村井 政則
森谷 正敏・菊池 和江
宇野 通代・田村 純也

（順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承願います。）

当選された皆様、大変おめでとうございます。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げます。

全道JA青年部大会に参加

12月4日～5日、全道各地のJA青年部が集う第63回全道JA青年部大会を札幌市内のホテルで全道の若手農家他730人を集めて開催され、えんゆう青年部からも部員14名で参加しました。

大会は2日間に渡り開催され、各地区で選ばれたJA青年部の代表が、将来の農業に対する希望を提言する主張大会や青年部活動の取組事例を紹介する活動実績発表大会、分科



青年部綱領を朗読する部員の皆さん

会を見聞して知識を深め、全体懇親会では他JA青年部と親睦を深めてきました。

また翌日は、長野五輪スキージャンプ金メダリストの舟木和喜氏が「メダリストの役割」と題して、北海道メデイカルスポーツ専門学校教務部長の常通道夫氏との対談形式での記念トークショーを拝聴し、講演の中で舟木氏はメダリストの役割・責任として、次世代の育成やセカンドキャリアの整備などをおこなっていること、自ら起業して道内食材を使ったアップルパイを販売していることなどを話し、農業後継者には「北海道の食材は、日本全国はもとより世界でも必ず名前が出てくるぐらい



青年部員に話す長野五輪スキージャンプ金メダリストの舟木和喜さん（上）と見せていただいた金メダル（下）

有名です。世界にはこだわりの持った物を求める人たちがいます。皆さんには、より良い物を作ることを変えないで欲しいし、さらに良い物を世の中に送り出していただくさ

い」とエールをもらいました。そして、会場で長野五輪の金メダルを実際に手に取らせてもらう機会があり、ずしりと手にくる重みにその価値の大きさをうかがいしることが出来ました。

本大会では、北海道農協青年部協議会からの活動経過報告があり、今後全道盟友とともに青年部活動の前進を図っていくことが確認され、盛会のうちに閉会となりました。



研修を受ける部員の皆さん

JA青年部酪農専門部は12月4日、恒例行事の視察研修を開催し、部員9名が出席しました。今回は、札幌市にあるホクレン北海道農業協同組合連合会の本所酪農課におうかがいして、酪農部家畜販売課の江竜勝弥課長補佐から「家畜市場流通関係」について、研修を受けました。

牛は、生まれてすぐから淘汰するまでの間様々な段階で売買がおこなわれますが、販売側と購入側の橋渡し役を担っているホクレン家畜市場と販売後の流通過程などについて、わかりやすい説明を受け、部員一同良い研修になりました。

また、会食の席では部員お互いが今年の営農状況を振り返りつつ親睦を深め、視察研修を終えました。

**青年部酪農専門部
視察研修を開催**

上湧別産玉ねぎを川越市内でPR! 上湧別玉葱振興会青年部がPR活動



店頭PR販売の様子

上湧別玉葱振興会青年部では、自分たちが栽培する玉ねぎの品質向上と販売促進を目的として、毎年、全国の青果市場とその近隣スーパーマーケットを訪問して、出荷した玉ねぎの評判を聞き、スーパーマーケットで上湧別産玉ねぎのPRや販

売を通じた消費者との交流をはかっています。

今年は、11月28日から30日の日程で大宮中央青果市場（埼玉県さいたま市）と生鮮市場TOP川越店（埼玉県川越市）に行き、今年度の上湧別産玉ねぎの市場での評価を聞くとともに、店頭で販売PR活動しました。

店頭PRにあたっては、上湧別ならびにオホーツクをPRするために、湧別町から分けていただいたチューリップの球根とFromオホーツクのグッズをセットにして、玉ねぎを買い求めた消費者の方々にプレゼントをあわせておこないました。

販売活動も開始と同時に多くの消費者の方に上湧別産玉ねぎを買い求めてもらい、盛況のうちに今回の活動を終わりました。

食と農

新連載
和菓子歳時記

家の光料理カード

新連載
農ライフのすすめ

家庭園芸

暮らし

新連載
身近な問題を掘り下げる
どうする?みんなの話題

新連載
暮らしのはてな相談

新連載 ツボできれい!

やさしいハンドメイド

親と子の童話

STOP! TPP

TPP問題を
わかりやすく
解説します。

『家の光』は “つながる”を 応援します。

協同

JA組合長インタビュー
協同の心で
明日を拓く

フレミズ
わいわいトーク

みんなでできた!
JA女性組織

北川太一の
3分でわかる
JA講座

タイトル・内容は変更することがあります。

家族

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」
をたいせつに、みんながつながる
ことで、人・組織・地域が
元気になる記事が
満載です。

新連載
老年世代へ暮らし全般のアドバイス
安心・安全なひとり暮らし術

美輪明宏の人生相談

旬な著名人が“きずな”を語る
My絆Story

家の光

『家の光』定価(税込)：
2014年5月号 880円
※2014年6月号からは
消費税率が変わるため、
普通月号 617円／付録
月号(1・4・5・7・9) 906円
／家計簿付き12月号
1,008円

5月号から「地域情報版」にリニューアル!

JAグループ(一社)家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL03-3266-9039 ホームページ <http://www.ienohikari.net>

賀正

昨年中は御愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

職員一同、皆様の御用命を

心よりお待ち申し上げます。

平成二十七年 元旦



(株) エーコープ えんゆう
(株) ジェーエー えんゆう
(株) えんゆう機械センター

平成27年度 営農計画書作成協議日程

本所・遠軽地区

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時30分～午後4時
1月16日	金	千代田・社名淵・美山・留岡・若松（JA会議室）	
1月19日	月	学田・向遠軽・豊里・清川（JA会議室）	
1月20日	火	栄野・湯の里・瀬戸瀬・若咲内（JA会議室）	
1月21日	水	札富美・開盛（JA会議室）	旭（JA会議室）
1月22日	木	上富美（JA会議室）	富美（JA会議室）
1月26日	月	北兵村二区・三区（JA会議室）	南兵村一区（JA会議室）
1月27日	火	北兵村一区（JA会議室）	
1月28日	水	南兵村二区（JA会議室）	
1月29日	木	屯田市街地（JA会議室）	南兵村三区（JA会議室）

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●丸瀬布・白滝・生田原地区につきましては、1月9日以降、個別にご連絡させていただきます。